



結ぶ“まちづくり”

平成25年2月9日

取り組みに至る動機

今回着目した
課題

× 人通りの減った商店街

大型店出店・時代の変化により失われた人の流れ

× 歴史や文化など既存資源の有効活用

市民が観光魅力としての価値に気付いているのか

× 市民が主役の“まち”

市民のもてなし⇒リピーター・口コミの増加

焦点：静岡浅間通り商店街

駿府城公園～浅間神社のちょうど中間
に位置する浅間通り商店街

人の流れを生む拠点として
企画を検討していく

事例検証（一箱古本市）

2005年東京で始まった「一箱古本市」

⇒参加者が一箱に売りたい本を持ってきて、
販売しながら交流を楽しむ

⇒買い手と売り手の相互ネットワーク型古本市

⇒手軽に参加者になれる&様々な職業の人が
「一箱」を通じてお客さんと結びついていく

「一箱古本市」を通じて静岡浅間通り商店街に利益をもたらすシステムの構築を検証

目標とするシステム ⇒ 商店街へ利益還元



一箱古本市

クーポン券
の利用促進

広告つきマップ
の作成
(広告収入)

《結ぶまちづくり》
との関係を構築

場所の提供

商店街

調査結果に基づく検証

- ・ “**にぎわい**” のみでは何も変わらない
⇒ 商店街にも利益が発生するようであれば、商店街の人の心を動かさない
- ・ 一箱古本市のみでは “**資金調達**” が困難
⇒ 広告収入も繰り越すほどは期待できない



事業とするにはそれ以外の活動も並行する
⇒ 行政の一部も請け負う必要もあり

今後の展望 (ニーズに応えるまちづくりカフェ)

イベントの企画・運営
代表例：一箱古本市

夜間講座・ゲスト
会員：1,000円
一般：1500円

まちづくりカフェとして法人化

マップ・広報誌などによる
広告収入の確保

カフェの運営
(情報発信・交流の場)

今後のスケジュール

2月

3月

4月

5月

6月

